



体験塾 in 浜松 実施報告

～働く外国人から選ばれるまちづくりのために～

(一財)自治体国際化協会多文化共生部多文化共生課

開催の概要

「体験塾」は、多文化共生にかかる先進的な取り組みの事例を現地で直接学び、施策立案スキルの向上とともに、参加者間のネットワークの構築を図ることを目的とする実地研修です。

2022年度は全2回の実施を予定していますが、第1回は、静岡県浜松市・湖西市において、「働く外国人から選ばれるまちづくり」をテーマに、6月7日、8日の1泊2日で開催しました。2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を断念せざるを得ませんでした。感染症対策を行いながら、3年ぶりに開催することができました。

北は北海道から南は宮崎県まで、全国各地から集まった参加者の皆様と、先進的な取り組みをしている3つの事業所を視察し、視察から学んだことをそれぞれの地域でどのように活かしていくかを、ワークショップで掘り下げました。

<体験塾 in 浜松 スケジュール概要>

1日目	
13:00-15:40	オリエンテーション
16:20-17:20	特別養護老人ホーム燦光の視察（主な在留資格：特定技能、技能実習生）
2日目	
9:30-10:30	静岡ダイハツ販売株式会社の視察（主な在留資格：技術・人文・国際業務）
10:50-11:50	株式会社ソミックマネジメントホールディングスの視察（主な在留資格：技能実習生、定住者）
14:15-16:00	ワークショップ・質疑応答

オリエンテーション

1日目には、視察に臨むにあたってのオリエンテーションを実施しました。浜松市から当協会に派遣されている職員から浜松市の多文化共生に係る取り組みを紹介したあと、今回の研修全体を通じて総括ファシリテーターを務めていただいた、地域国際化推進アドバイザーの堀永乃様に、先進的な取り組みの背景や、視察のポイント、考え方についてご講演をいただきました。

堀様が代表を務めている、一般社団法人グローバル人材サポート浜松（グローバル人材サポート浜松）の取り組みのご紹介からも、施策立案のためのヒントをたくさん得ることができました。

堀様が代表を務めている、一般社団法人グローバル人材サポート浜松（グローバル人材サポート浜松）の取り組みのご紹介からも、施策立案のためのヒントをたくさん得ることができました。

先進事例の視察

オリエンテーション終了後には、特別養護老人ホーム燦光（燦光）を視察し、お話をうかがいました。燦光の職員は、全体48人のうち10人（約5人に1人）が特定技能、技能実習生などの外国人です（2022年現在）。

特に印象的だったのは、外国人職員がいることで、日本人職員も含めた職員全体のコミュニケーションが活性化しているというお話です。日本人職員は外国人職員に対して、やさしい日本語と介護の専門用語を上手く使い分けてコミュニケーションをとっているといいます。外国人職員も、様々な国籍・言語の職員がいることから、日本語を媒介語にしてコミュニケーションをとります。職員全体に「何とか伝えよう」という意識が醸成され、日本人同士もより一層密に連携できるようになったというお話には、まさに目から鱗でした。



燦光 施設長や外国人職員からお話をうかがう

その他にも、ピアスの着用を認めるなど、外国人が働きやすい職場づくりのために企業ができる取り組みや、日本での生活に必要なルールやマナーについて、ふりがなを振ったイラストを使ったりするなど、外国人でもわかりやすいように工夫を凝らした冊子を独自に作成していることをうかがい、行政が担うべき役割についても気づきを得る視察となりました。

2日目には、静岡ダイハツ販売株式会社、株式会社ソミックマネージメントホールディングスの2つの事業所を視察しました。

静岡ダイハツ販売株式会社（静岡ダイハツ販売）では、「音声による点検結果入力システム」の導入などについてお話をうかがい、システムのデモンストレーションを行っていただきました。

このシステムは、自動車整備士の人材不足を背景に、限られた人員での点検・整備の効率性や精度の向上を目的としてダイハツ工業株式会社が開発し、販売店に導入したものです。整備士は、システムと連動したマイクを着け、システムが読み上げる項目の順番に従って点検・整備を行います。整備士が「良好」などと結果を声に出すと、内容が自動的にシステムに記録されていきます。整備士は記録のために工具と筆記具を持ちかえる必要がなく、点検・整備に集中できます。加えて、終了時に所定の項目に漏れがあった場合にはシステムが知らせてくれるため、整備士、顧客双方にとって、整備不良がないという安心感につながります。さらに、顧客への報告書もシステムから印刷できるため、手書きで作成していたときよりも綺麗で迅速な報告ができ、顧客満足度にもつながっているといます。



静岡ダイハツ販売 外国人整備士のシステムデモンストレーション

企業の生産性、顧客の満足度、外国人を含む社員の働きやすさの「三方よし」だからこそ、このような大規模なプロジェクトが動き出し、システムの運用に至ったのだと考えさせられました。大企業ならではの取り組みに圧倒されますが、企業がどのように未来を見据えて事業を行っているのか、その考え方や、多文化共生のためのIoT活用の可能性を体感したことは、行政における施策立案にも生きてくるのではないのでしょうか。

最後に視察した株式会社ソミックマネージメントホールディングス（ソミック）では、成長戦略としての外国人雇用と雇用後の育成、働きやすい職場づくりについて、お話をうかがいました。

ソミックグループでは、タイヤと車体をつなぐボールジョイントなどの自動車の部品を製造しています。自動車業界は100年に1度といわれる変革期を迎えており、ソミックグループでは、この変革期を更なる成長につなげるため、新規事業の展開を進めています。これまでも地域に定住している日系南米人などを採用してきましたが、近年では、新規事業に携わる高度専門人材として外国人を積極的に採用し、イノベーションを目指しているそうです。グループ全体で社員2,297人のうち、外国人は238人です（2022年現在）。



ソミック 取り組みの説明に熱心に聞き入る

外国人の採用に際しては、日本入国後の移動、社員寮の提供、生活に関する相談対応など一ご担当者は「できることから」とおっしゃいますが一、多角的で充実したサポートをしています。また、日本語能力の向上のため、勤務時間外に社内で日本語教室を開いている他、勤務時間内にも語学研修を実施しているそうです。さらに、日本人社員に対するやさしい日本語の研修の実施や、お祈りのために会議室の提供など、受け入れのための職場づくりにも力を入れています。

このような体制の整備は、グローバル人事部を中心に、多文化共生の取り組みを推し進めているために実現しているのだと推察されます。具体的で多角的な取り組みから、実践に移すためのたくさんのヒントを得られる視察となりました。

ワークショップでの振り返り

視察終了後にはワークショップを実施し、参加者それぞれが学んだことや考えたことをワークシートや付箋に書き込みながら視察を振り返り、グループで内容を共有しました。

振り返りにあたっては、堀様から、視察で学んだことを実践に活かすためのポイントについてご講演いただきました。ご講演では、堀様がグローバル人材サポート浜松で運営している「職場の外国人受入環境整備プロジェクト」についてご紹介いただきました。このプロジェクトを事業化する際にどのような背景があったのか、どのように事業を組み立てたのか、どのように関係者を巻き込んだのかなど、堀様のノウハウを惜しみなく伝授いただき、貴重な時間となりました。



ワークショップでの振り返りから施策立案へ

おわりに—働く外国人から選ばれるまちづくりのために—

視察した事業所が「生存戦略や成長戦略として始めた取り組みが、結果として外国人の働きやすさにもつながっていた」と、同様の考えを述べていた点が印象的でした。一方で、燦光ではフィリピン人看護師、静岡ダイハツ販売ではベトナム人整備士、ソミックでは中国人社員の皆様からお話をうかがいましたが、すべての方から「日本で働き続けたい」という言葉があり、各事業所の工夫や熱意が確実に届いていることを実感しました。

また、体験塾を通して様々な取り組みを知った結果、まだ広く知られていないだけで、素敵な取り組みをしている企業はたくさんあり、熱心に取り組んでいる人はたくさんいるのだと確信することもできました。

外国人労働者の受け入れの加速が見込まれるなかで、外国人がいきいきと暮らし、働くことができるまちづくりは、行政にとって喫緊の課題といえます。まちづくりは一朝一夕にはいきませんが、まずは地域の人や企業の取り組みについてもっと知り、それを発信することが、その第一歩になるのではないのでしょうか。

参加者の皆様からは、「民間企業の取り組みを知り、行政がどのようなことができるのか、していかなければならないのかを考える一助となった」「先進事例を、自分の地域ではどう活かせるのか、どう取り入れていけるのかをまずは考えていきたい」「外国人に選ばれるまちになれるように頑張りたい」など、前向きな感想をたくさんいただきました。皆様がそれぞれの地域で「働く外国人に選ばれるまちづくり」のために取り組むうえで体験塾での学びが活かされること、その取り組みが全国に広がっていくことを願っています。

参考資料

体験塾のホームページはこちらから！

これまでの実施報告を掲載しています。

- ◆ 2022年度第1回 (in 浜松)
- ◆ 2019年度第1回 (in 浜松)
- ◆ 2019年度第2回 (in 岡山)

2022年度第2回の開催については自治体、地域国際化協会、市区町村国際交流協会に通知し、こちらのホームページでもお知らせします。



<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/taiken.html>

視察先などの参考ホームページはこちらから！

- ◆ 特別養護老人ホーム燦光
<http://www.shinwakai-shizuoka.or.jp/facility/tokuyou/index.html>
- ◆ 静岡ダイハツ販売株式会社
<https://www.shizuoka-daihatsu.co.jp/>
- ◆ 株式会社ソミックマネジメントホールディングス
<https://www.somic-group.co.jp/>
- ◆ 職場の外国人受入環境整備プロジェクト
<https://g-tekiseishien.com/>

体験塾に関するお問い合わせ

多文化共生部多文化共生課

Tel : 03-5213-1725 Mail : tabunka@clair.or.jp